

令和５年度 第２期岩国市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

令和６年５月

岩国市（山口県）

○計画期間：令和２年４月～令和７年３月（５年）

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

１．令和５年度終了時点（令和６年３月３１日時点）の中心市街地の概況

本市は、第２期岩国市中心市街地活性化基本計画（令和２年２月策定）に基づき、『みんなが考え、みんなで進める、みんなに優しいまちづくり』を基本テーマとする、官民協働の事業を推進している。

令和５年度は、物価高騰の影響があったものの、５月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「５類」に移行したことで経済が回復傾向にあり、街の賑わいも戻りつつある。消費者の外出も増えていることから、新規創業者等の出店意欲も高まり、「まちなか再生事業助成金」の利用件数は過去最多となった。商店街エリアの空き店舗率は昨年度と同じ数値で留まったものの、中心市街地の事業所数は昨年に比べて増加した。

また、開催の見合わせや縮小を余儀なくされていたイベントが通常規模で再開され、岩国市最大の祭りである岩国祭には約６万人が訪れる等、歩行者通行量の増加をもたらした。政府から一律に日常における感染対策を求められることはなくなったことから、消費者の外出意欲は引き続き高まり、経済や街の賑わいによりよい影響をもたらすと期待できる。

「岩国駅前南地区第一種市街地再開発事業」については、令和１０年度の完成を目標に、中心市街地の賑わい創出に向けた新たな拠点施設の整備を進めている。「岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業」についても、再開発ビルと一体的に整備するため、令和４年度に策定した実施計画に基づき、施設整備に向けた実施設計を行っている。

（株）街づくり岩国は、市内の小・中学校で、岩国駅周辺の将来像を描いた「岩国駅周辺地区グランドデザイン」の講演会を実施した。講演後には理想のまちについてのディスカッションも実施し、将来のまちづくりを担う若者が、自分たちの住むまちについて考えるきっかけとなった。

また、再開発ビルの完成により見込まれる集客効果と賑わいを、隣接する商店街に波及させるため、各商店街の組合と岩国駅前南地区市街地再開発組合と（株）街づくり岩国で「岩国くらすまちづくり協定」を締結し、定期的に情報交換や意見交換の場を設けることが定められた。これにより、建築物の新設等においてグランドデザインに沿った街づくりの推進に繋がることが見込まれる。

加えて、岩国駅周辺で事業展開する若手プレイヤー育成のためのワークショップへの参加者８名が公募で選ばれ、一年で１１回のワークショップを開催。延べ１８８人が参加し、行政に頼らない自発的なまちづくりが進められた。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地 区域）		平成30年度 （基準値）	令和元年度 （計画年度）	令和2年度 （1年目）	令和3年度 （2年目）	令和4年度 （3年目）	令和5年度 （4年目）
人 口		4,658 人	4,714 人	4,693 人	4,610 人	4,645 人	4,567 人
内 訳	年 少	541 人	544 人	528 人	526 人	540 人	515 人
	生 産	3,014 人	3,069 人	3,046 人	2,956 人	2,960 人	2,913 人
	老 年	1,103 人	1,101 人	1,119 人	1,128 人	1,145 人	1,139 人
人口増減数		121 人	56 人	△21 人	△83 人	35 人	△78 人

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準 値から の改 善状 況	前回の 見通し	今回の 見通し
魅力と個性あ ふれる持続可 能な商業空間 の創出	①小売業・宿泊業・ 飲食サービス業・生 活関連サービス業・ 娯楽業の事業所数 （岩国駅周辺商店街 通り区域）	216 店舗 （H30）	230 店舗 （R6）	215 店舗 （R5）	C	③	②
〃	②本通商店街・中通 り商店街・中央通り 商店街の空き店舗率	14.7% （H30）	12.2% （R6）	16.8% （R5）	C	③	③
多くの人が集ま り、楽しめ、暮ら せる快適な生 活空間の創出	③歩行者等通行量 （平日）	15,361 人 （H30）	15,900 人 （R6）	11,175 人 （R5）	C	③	③
〃	④歩行者等通行量 （休日）	13,823 人 （H30）	13,700 人 （R6）	11,044 人 （R5）	C	③	③
〃	⑤居住人口	4,658 人 （H30）	4,719 人 （R6）	4,567 人 （R5）	C	①	③

＜基準値からの改善状況＞

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）については、創業者等が活用する「まちなか再生事業」（空き店舗活用助成事業、まちなか店舗魅力向上助成事業、まちなかりノベーション助成事業、まちなか商業施設等建築促進助成事業の総称）の申請件数は年々増加している。コロナ禍からの脱却が進み、経済社会活動が緩やかに回復していることから、既存事業主の売上回復や新規創業者の増加が見込まれ、目標達成可能と見込んでいる。

②の本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率については昨年と横這いであり、消費者の今後の外出意欲がより高まることが予想され、新たな出店意欲の向上が期待されることから、目標達成は可能と見込んでいる。

③・④の歩行者等通行量については、まちなか再生事業等を利用した新規店舗の出店が増加傾向にあることや、コロナ前同様の規模のイベントも増加してきていることから、来街者が増えると予想され、目標達成は可能と見込んでいる。

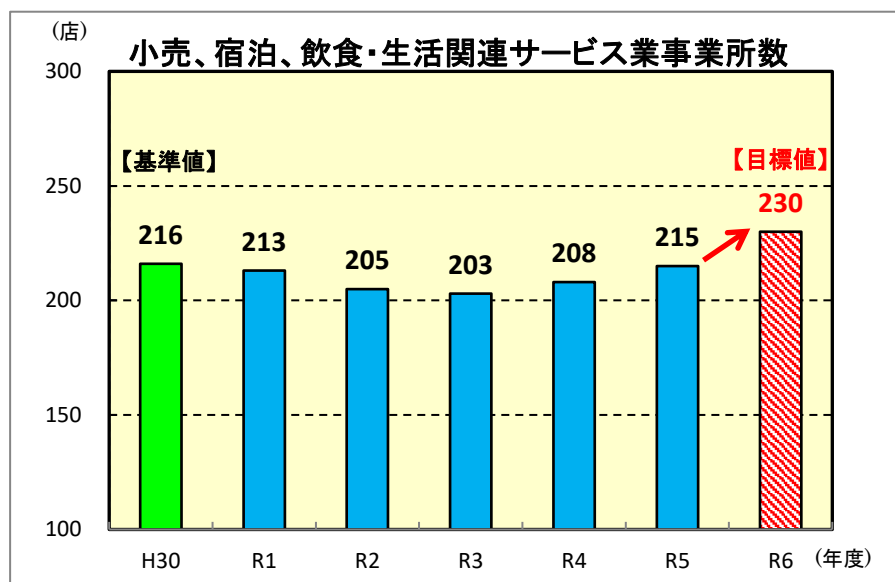
⑤の居住人口について、昨年度に比べ減少しているが、市街地再開発ビル建設計画も順調に進んでおり、令和6年度中には新たに中心市街地エリア内にマンションの完成が予定であることから、駅周辺の利便性の向上や居住先の増加により、更なる人口流入が期待できるため、目標達成可能と見込んでいる。

3. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）」

※目標設定の考え方基本計画 P53・54 参照

●調査結果の推移



年度	(単位: 店)
H30	216 店 (基準年値)
R1	213 店
R2	205 店
R3	203 店
R4	208 店
R5	215 店
R6	230 店 (目標値)

※調査方法：机上及び現地調査を実施。

※調査月：令和6年3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：岩国駅周辺商店街通り区域の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	--

事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業で構成される事業効果を15店舗の増と見込んでいる。令和5年度の実績としては、 ①空き店舗活用助成事業においては、当該地区で4店舗が事業を活用し、開業した。 ②まちなか店舗魅力向上助成事業においては、当該地区で3店舗が事業を活用し、店舗改修を行った。 ① まちなかりノベーション助成事業においては、当該地区で1店舗が事業を活用し、リノベーションを行った。 ② まちなか経営強化支援事業においては、当該地区で40店舗・合計128回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和6年度も引き続き、本事業を推進し、新たな出店を促進しつつ、にぎわいの創出を図る。

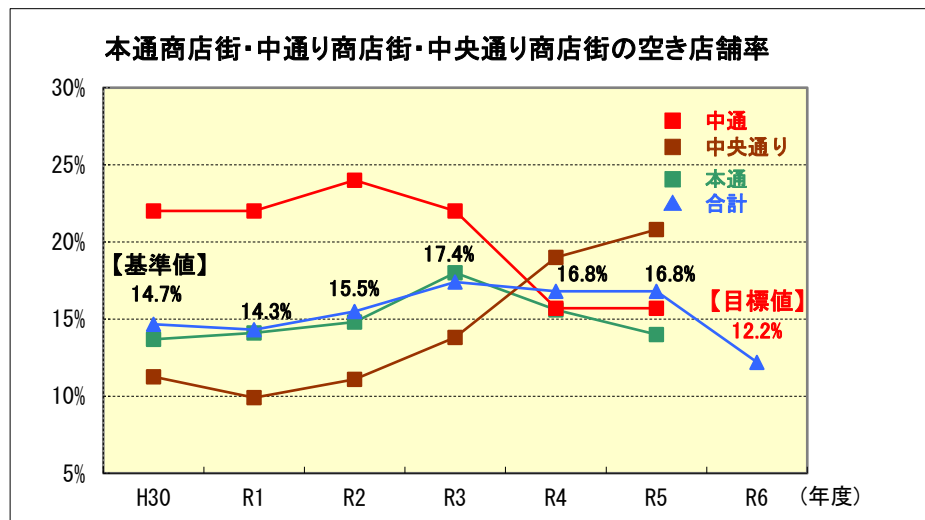
●目標達成の見通し及び今後の対策

今年度は、コロナウイルスの5類移行に伴い、消費者の外出意欲も昨年度に増して高まるとともに、来街者の増加を見込む創業者等の出店意欲も向上してきたことから、「まちなか再生事業」の申請件数が過去最多の30件に上った。また、「まちなか経営技術強化支援事業」については、新規創業についての相談が全体の6割となり、創業に際して継続的な支援を実施した。

今後も、特に創業して間もない事業者や創業を希望する事業者に安定した経営を実現してもらうため、商工会議所や㈱街づくり岩国と連携して、事業の推進に努める。

「本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率」※目標設定の考え方基本計画 P54～56 参照

●調査結果の推移



年度	(単位:店)
H30	14.7% (基準年値)
R1	14.3%
R2	15.5%
R3	17.4%
R4	16.8%
R5	16.8%
R6	12.2% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：令和5年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）【再掲】
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。

事業効果及び進捗状況	計画終了時の本5事業による事業効果を10店舗の増としており、概ね目標値に達すると見込んでいる。令和5年度の実績としては、 令和5年度の「まちなか再生事業」申請件数30件のうち、商店街内での活用は8件あり、商店街の空き店舗率の維持に繋がった。 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業においては、40店舗・合計128回の相談を受け、様々なアドバイスにより、課題解決を促し、創業や事業継続に繋がった。
事業の今後について	令和6年度も引き続き、本事業を推進し、空き店舗率を減少させ、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

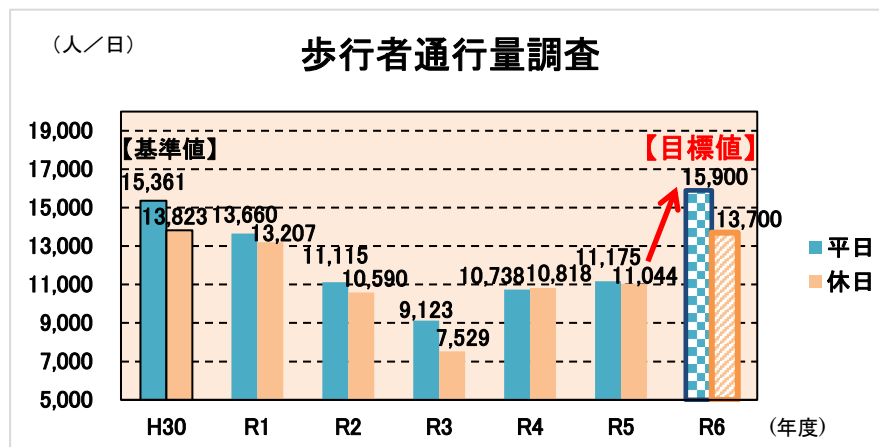
中心市街地全体では、「まちなか再生事業」の申請が30件となり、昨年度に比べて2件増加している。申請件数のうち、商店街内での利用は8件であった。中心市街地エリア内の商店街の空き店舗率は昨年度の数値から変わりなく、横這いという結果となったが、消費者の外出意欲の向上を受けて、商店街内の空き店舗を利用した創業の相談や開業店舗の数も増加していることから空き店舗率の減少が期待される。

商店街を含む中心市街地エリアの事業者を対象として、専門家が能動的に店舗を訪問する等して創業や経営等に関する相談に乗る「まちなか経営技術強化支援事業」においては、昨年度の相談件数33件に対し、令和5年度は40件に増加し、延べ128回の支援によって新規創業や安定的な経営に貢献した。今後も、商工会議所や閑街づくり岩国と連携して、事業の周知広報に努める。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P57～59 参照

●調査結果の推移



※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年1月末の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：令和6年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内16箇所17地点

年度	(単位)
H30	平日 15,361 人/日 休日 13,823 人/日 (基準年値)
R1	平日 13,660 人/日 休日 13,207 人/日
R2	平日 11,115 人/日 休日 10,590 人/日
R3	平日 9,123 人/日 休日 7,529 人/日
R4	平日 10,738 人/日 休日 10,818 人/日
R5	平日 11,175 人/日 休日 11,044 人/日
R6	平日 15,900 人/日 休日 13,700 人/日 (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

※①～④をまとめて「まちなか再生事業」という

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	---

事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 684 人/日増、休日 630 人/日増と見込んでいる。 令和5年度の実績としては、 ①の空き店舗活用助成事業においては、家賃補助で 11 店舗が認定を受けた。また、店舗改修で 10 店舗が助成を受けたのち、新規店舗として開業した。 ②のまちなか店舗魅力向上助成事業においては、7店舗が助成を受けた。 ③のまちなかリノベーション助成事業においては2店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業の令和5年の実績としては、40 店舗・合計 128 回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和6年度も引き続き、本事業を推進し、新たな出店を促進することで、にぎわいの創出を図る。

- ⑥. まちなかイベント・セミナー推進事業(岩国市・㈱街づくり岩国・民間事業者)
- ⑦. まちなか情報発信事業(㈱街づくり岩国)
- ⑧. 交通安全対策事業(岩国市)
- ⑨. 防犯設備整備事業(岩国市)
- ⑩. まちなか空間魅力向上事業(岩国市・㈱街づくり岩国・民間事業者)

事業実施期間	⑥まちなかイベント・セミナー推進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑦まちなか情報発信事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑧交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑨防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【完了】 ⑩まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	⑥魅力あるイベントや多種多様なセミナーを開催することにより、交流人口の増加やにぎわいを創出する。 ⑦中心市街地内にある店舗、イベント情報を発信することにより、来街者の増加と回遊を促進する。 ⑧安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑨道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑩安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。

事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 44 人/日増、休日 165 人/日増と見込んでいる。 令和5年度の実績としては、 ⑥のまちなかイベント・セミナー推進事業においては、令和4年度のイベント件数が 53 件であったことに対し、令和5年度は 75 件と、大幅に増加し、にぎわい創出に寄与した。 ⑦のまちなか情報発信事業においては、新たに8店舗の新規開業店舗紹介に加え、イベント・セミナー等の情報提供のよりスピーディーな情報伝達に努めた。 ⑨の防犯設備整備事業においては、エリア内に 17 台の防犯カメラを設置した。
事業の今後について	令和6年度も、事業を推進していくことで、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

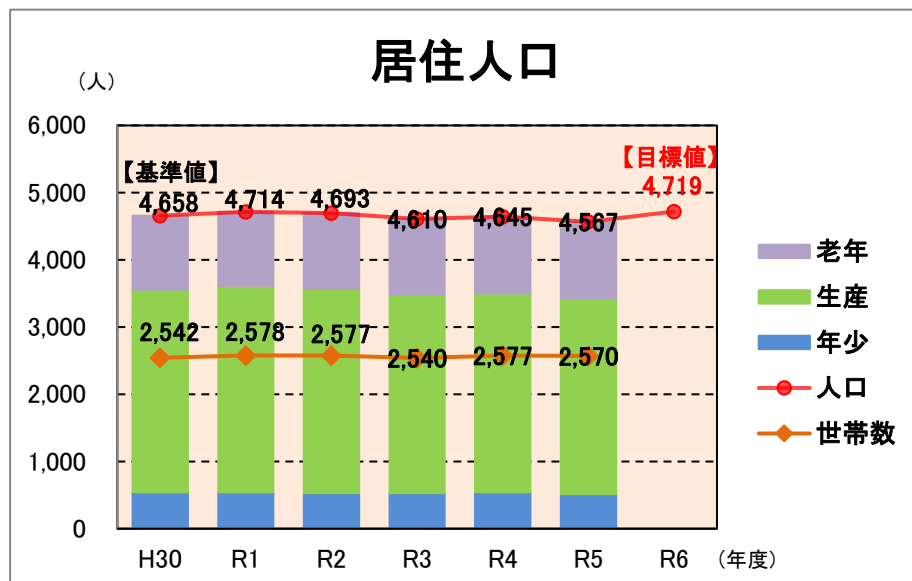
令和5年度は、約6万人を動員した岩国市最大の祭りである「岩国祭」をはじめとして、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で開催の見合わせや規模の縮小をしていた中心市街地エリアのイベントも通常規模で開催された。また、政府から一律に日常における基本的感染対策を求められることがなくなり、消費者は飲食店等へも訪れやすくなったと考えられ、事業所数も増加傾向にあることから、来街者が増加し、歩行者等交通量も増加すると見込まれる。

引き続き、来街者の増加と回遊性を促進するため、商工会議所や㈱まちづくり岩国と協力しながら、事業を推進していく。

「居住人口」

※目標設定の考え方基本計画 P59～60 参照

●調査結果の推移



年度	単位：人
H30	4,658 人 (基準年値)
R1	4,714 人
R2	4,693 人
R3	4,610 人
R4	4,645 人
R5	4,567 人
R6	4,719 人 (目標値)

※調査方法：人口データ

※調査月：令和6年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内の居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業（株いきいき東）
- ②. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなか商業施設等建築促進事業（岩国市）【再掲】
- ④. 防犯設備整備事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. 交通安全対策事業（岩国市）【再掲】
- ⑥. まちなか空間魅力向上事業（岩国市・株街づくり岩国・民間企業）【再掲】

事業実施期間	① 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業 平成30年度～令和3年度【完了】 ② まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③ まちなか商業施設等建築促進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④ 防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【完了】 ⑤ 交通安全対策事業 平成25年度～令和6年度【実施中】 ⑥ まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	---

事業概要	① 岩国駅東口に交流施設および共同住宅を整備することで、にぎわいの創出及びまちなか居住を促進する。 ② 不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ③ 不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ④ 道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑤ 安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑥ 安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。
事業効果及び進捗状況	本6事業による事業効果により、これまでの傾向を踏まえた増加を見込んでいる。令和5年度の実績としては、 ①まちなかリノベーション助成事業においては2店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。
事業の今後について	今後も、事業を推進していき、居住人口の増加に努めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

市内全域の居住人口の減少傾向と同様に、令和5年度の中心市街地内の居住人口は減少した。しかし、まちなか再生事業助成金を活用した店舗の増加や、市街地再開発ビルの完成に伴う、まちなかの魅力や機能・利便性の向上に加え、令和6年度には中心市街地エリアに新たなマンションが完成予定であることから、居住人口の増加を見込んでいる。